

お詫びと訂正

2026年版 大学赤本シリーズ No.484 『関西大学（英語〈3日程×3カ年〉）』におきまして、内容の一部に誤りがございました。訂正箇所をお知らせいたしますとともに、謹んでお詫び申し上げます。

教学社編集部

記

2025年度 p. 22 2月3日実施分 解答編 英語 大問Ⅱ

解答 A (14) 誤 C 正 A

解説 (p. 26)

当該文の意味は「RPに対するそのような否定的な態度は、一世代前であれば…（ ）ことはなかつただろう」となる。直後文の前半に、RPが否定的なイメージを獲得しつつあるのは初めてのことだという内容があるので、一世代前であればそのようなイメージが報告されることは考えにくい、ということが推測できる。よって、Aのlikely「ありそうな」が正解。B. 「奨励される」 C. 「受け入れられる」 D. 「驚くべき」

2025年度 p. 63 2月4日実施分 解答編 英語 大問Ⅲ

解答 A (8) 誤 B 正 A

解説 (pp.67-68)

下線部は「遊びたいという犬の望みと飼い主の悲しみや怒りは共存しない」という意味。直前の2文から、犬は飼い主の気を紛らし、感情をコントロールすることがわかる。遊びたがる犬を前にした飼い主は悲しみや怒りを忘れるということである。その趣旨に合致しているのはAである。

解答 B (4) 誤 A 正 C

解説 (p. 69)

第7段によると、犬は話の腰を折ることなくひたすら話を聞いてくれるということである。逆に言うと、人間は話の途中で口を開いて、心ゆくまで話をさせてくれないということである。これに近いのはCである。

以上